

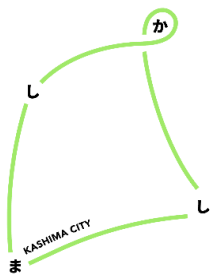
佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

生涯学習課

件名	鹿島スロヴァキア国立オペラ2026が開催されます
アピールポイント	スロヴァキア国立歌劇場から来日したソリストによる、本格的なオペラが楽しめます。
説明	<p>スロヴァキア国立歌劇場から来日したソリストによる、本格的なオペラが楽しめます。</p> <p>演目：コンサートオペラ フィガロの結婚 (W. A. モーツァルト)</p> <p>日時：令和8年7月2日 (木) 13時45分～14時45分 (13時15分開場)</p> <p>場所：鹿島市民文化ホール (佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1)</p> <p>チケット：当日券4,000円、前売券3,500円 (チラシのQRコードから販売中)</p> <p>備考：鹿島市内から小中学生450名招待の予定 演奏終了後に、市民文化ホールの舞台上で市長表敬訪問の予定</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし



市のロゴ・キャッチコピー完成!

キャッチコピー  
かしましかロゴデザイン  
市の地図形状がモチーフ  
つながり・循環をイメージ

## 本件に関する問合せ先

所属 鹿島市教育委員会 生涯学習課

氏名 瀬戸

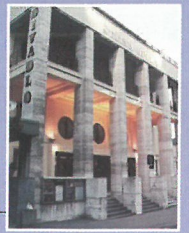
TEL 0954-63-2125

FAX 0954-63-2313

Mail [shougai09@city.saga-kashima.lg.jp](mailto:shougai09@city.saga-kashima.lg.jp)



当公演は、質の高いオペラを、手頃な価格で市民の皆様にご提供するとともに、公演を通して、スロヴァキアと日本との文化交流を行うことを目的としています。



# 鹿島スロヴァキア国立オペラ 2026

バンスカー・ビストゥリツァ スロヴァキア国立歌劇場

since 1959  
66th

コンサートオペラ

# コイガロの結婚

W.A. モーツァルト

オペラのエッセンスを凝縮し、ナレーションで紡ぐコンサートオペラ。  
スロヴァキア国立歌劇場のソリストたちが繰り広げる圧倒的な歌の世界。

2026年7月2日(木曜日)

13時45分開演(13時15分開場)

鹿島市民文化ホール  
「SAKURAS」

佐賀県鹿島市  
大字納富分 2643 番地 1  
TEL 0954-63-2125



入場料 全席指定 前売り券 3,500円  
(当日券 4,000円)

市内小中学生 450名招待

チケットは以下のQRコードからお申込みください



指定席受付



フィリップ・ラソタ  
バスバリトン



パウリーナ・オヴァートコヴァー  
ソプラノ



ミラン・ハヤシュ  
バリトン



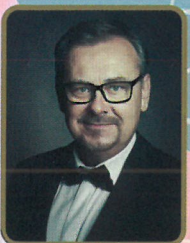
パトリーツィア・マロヴェッツ  
ソプラノ



ドゥシャン・シモ  
テノール



カタリーナ・プロハースコヴァー  
ソプラノ



シモン・スヴイトック  
バリトン  
<監督、照明、舞台>



マルティナ・スヴイトコヴァー  
ピアノ



橋本ダナ  
ナレーション

- 主催・問合せ 佐賀スロヴァキア・オペラ交流の会  
<江頭 090-8222-9832>
- 共催 鹿島市・鹿島市教育委員会
- 後援 日本チェコ協会 / 日本スロバキア協会北海道支部  
スロヴァキア共和国文化省  
駐日スロヴァキア共和国大使館  
佐賀県・佐賀県教育委員会

※益金は子ども支援に用います。



# Kashima Slovakia Opera 2026



## コンサートオペラについて

コンサートオペラは、よく知られているアリアを中心に、ストーリーを再構成したオペラのダイジェスト版です。最小限の小道具と、表現力豊かなピアノの伴奏により、ソリストたちの歌を最大限に堪能することができます。私たちはこの形式をコンサートオペラと呼んでいます。



## コンサートオペラ『フィガロの結婚』

(ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト作曲 オペラ「フィガロの結婚」ダイジェスト版)

### ・登場人物 / 配役

フィガロ (伯爵の従者、花婿)	……………	フィリップ・ラソタ
スザンナ (女中、花嫁)	……………	パウリーナ・オヴァートコヴァー
アルマヴィーヴァ伯爵 (領主)	……………	ミラン・ハヤシュ
伯爵夫人ロジーナ (伯爵の妻)	……………	パトゥリーツィア・マロヴェッツ
バジーリオ (音楽教師)	……………	ドゥシャン・シモ



## あらすじ

18世紀の半ば、スペインのセヴィリア市。アルマヴィーヴァ伯爵の館で、伯爵の従者フィガロと女中スザンナの結婚式の準備が進んでいます。スザンナはフィガロに、伯爵が初夜権復活を目論んでいるらしく、音楽教師のバジーリオを使って自分を誘惑していると打ち明けます。フィガロは怒って伯爵夫人に事情を知らせ、一緒に伯爵をこらしめる作戦を考えます。伯爵がスザンナと夜に密会しようとしている館の裏庭に、スザンナの服を着せた小姓を差し向けようとしています。しかしその準備中に伯爵が現れ、作戦は失敗します。さらに、フィガロにお金を貸していた女中頭マルチェリーナが、証人として医者バルトロを連れて登場し、「借金を返さないなら、フィガロは私と結婚する約束だ」と言いはり、若者たちの結婚式が危うくなります。ところが捨て子だったフィガロが、実はマルチェリーナとバルトロの間にできた子供だという事実が発覚します。この親子3人とスザンナはすっかり意気投合し、二人の若者は無事結婚式を挙げます。伯爵は、それでも懲りずにスザンナを狙いますが、今度は伯爵夫人がスザンナの服を着て、密会の場所で伯爵を待ち構えます。うきうきしてやってきた伯爵は、自分の妻をスザンナと勘違いし、甘い言葉をささやき、指輪をプレゼントします。証拠を手に入れた伯爵夫人は自分の正体を明かします。伯爵は深く反省し、皆が彼を温かく許してあげます。